

ありがとうを響かせよう

大崎市立中山小学校



校歌

奥羽の峰の山ふかく
 さわやかに 大気はすみ
 わきいづる 水も清らに
 やすらげく 平和なる里

しづきをあげて ほとばしる
 さかんなる 大谷の流れ
 たくましく 強く生きよと
 朝夕に われらに語る

山川のごと 美わしく
 うけつぎし 正しき心
 てをとりて 共に励まん
 きょうもまたこの学びやに
 栄えあれ 中山小学校

作詞 初代職員一同

校章および由来

三つの山は、中山地域の自然環境を表し、さらに全児童協力の姿であり中山小学校の限りない発展も願っている。

また、基礎堅固な山は、義務教育の基礎を確立すべきことを意味する。中央に小学校の小を緑で配したのは、山紫水明の地とともに健康で心豊かな児童の育成を目指している。



昭和三十四年に開校し、七百六十四人の卒業生を輩出してきた「大崎市立中山小学校」が、五十五年間の歴史に幕を閉じました。

中山小学校は、平成二十六年三月三十一日をもって閉校し、四月一日から「大崎市立鳴子小学校」と統合しました。

これまで中山小学校が育んできた人々や地域のつながりは、中山小学校で過ごした思い出と共に、次代の子どもたちに語り継がれ、これからの地域づくりに生かされていきます。

◎ 教育総務課学校教育環境整備推進室 ☎5032

鳴子温泉地域中山地区は、紅葉の名所である鳴子峡の奥に位置し、三方が山に囲まれている温泉地です。春は新緑、秋は紅葉が美しく、自然の変化に富んでいます。冬は降雪量が多く、しばしば吹雪となることがあります。

中山小学校は、標高二百六十餘の大谷川のほとりにあり、川には、イワナやカジカなどが泳ぎ、ため池には、幾万のゲンジボタルが乱舞し、また裏山には、リスやキツネ、カモシカなどが生息しています。

児童たちは、このような大自然に

恵まれた環境で過ごしました。

保護者や地区の皆さんは、学校の教育活動に対する理解があり、非常に協力的です。運動会は、児童が少ないこともあり、地区の皆さんとの合同で盛大に開催され、学校の田んぼの運営やスキー教室の指導など、学校行事においても、地区の皆さんに支えられながら、楽しんで取り組むことができました。

地区の皆さんに見守られながら育った児童たちは、この地区ならではの貴重な体験を通し、この土地に根付いた生き方を学びました。



沿革

- 明治19年11月 岩出山学区簡易科中山小学校設置
- 42年4月 鳴子尋常高等小学校中山分教場と改称
- 昭和22年4月 鳴子町立鳴子小学校中山分校と改称
- 27年10月 現在地に校舎新築移転
- 34年4月 鳴子町立中山小学校創立
- 35年3月 校歌・校旗制定
- 39年11月 補食給食より完全給食に切り替え
- 43年3月 体育館竣工
- 49年7月 プール竣工
- 57年12月 新校舎竣工
- 63年9月 校歌碑建立・校木「けやき」制定
- 平成17年7月 完全複式学級
- 18年3月 大崎市立中山小学校と改称
- 26年3月 大崎市立中山小学校閉校



旧校舎



校旗制定



校歌制定